

# 内海小かわら版 号外

## 令和元年度 学校評価の結果について（報告）

保護者・全児童・教職員を対象に、今年度の内海小学校の教育についてアンケートを実施し、関係者評価として検証しました。学校評価の概要を以下の通り報告させていただきます。紙面の関係で一部の紹介となりますが、ご了承をお願いします。

（アンケート回収数 児童205人 保護者124人〔兄弟でそれぞれ回答する項目については171人〕 教職員15人）

### ① 学校生活について

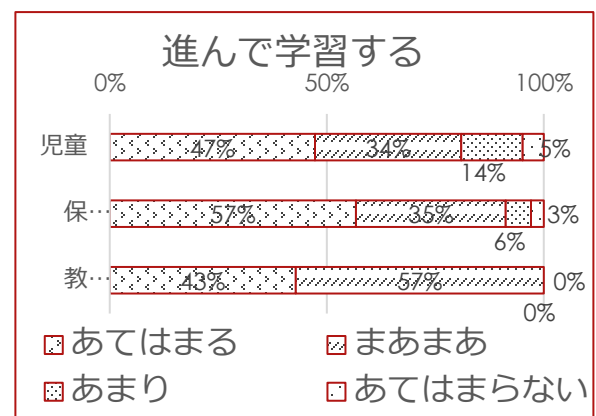
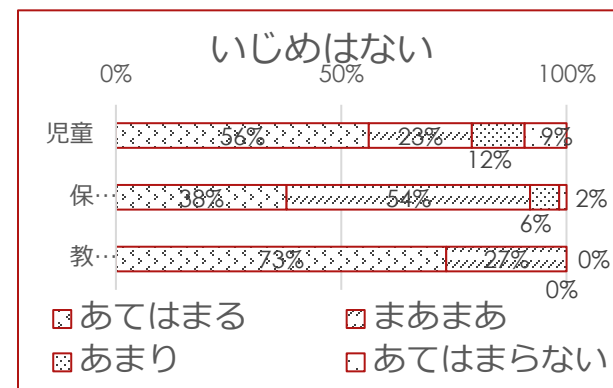
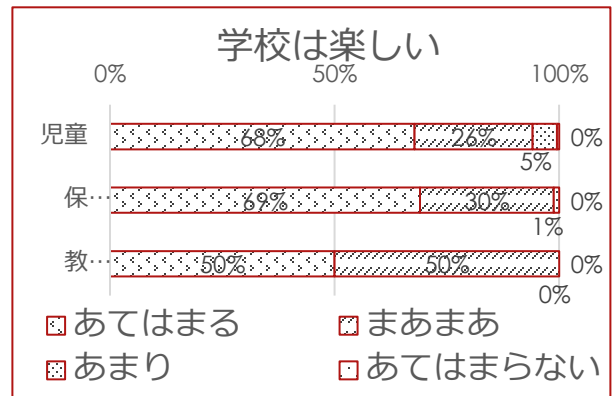
90%を超える児童が学校生活を楽しいと回答しており、保護者の評価も高くなっています。しかし、「（あまり）楽しくない」という児童も5%余り（12名）います。

また、いじめについても、「（あまり）ない」と答えた児童が、79%いる反面、いじめがあると感じている児童は、9%（19名）いるのが現状です。

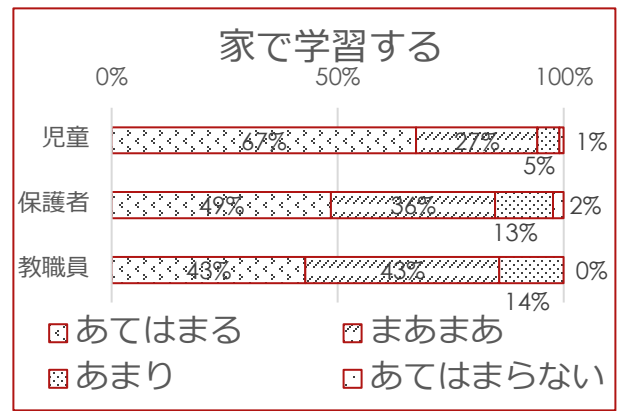
学校生活は、子どもたちにとって楽しく過ごせる場でなくてはなりません。また、人と人のかかわり方を学ぶ場でなくてはなりません。子どもたちが互いの個性を認め尊重し合えるよう、学級・縦割り班・通学班での楽しい活動を今後も工夫し、人間関係力の育成に努めていきます。また、無記名のいじめアンケートや教育相談を通して、一人一人の悩みについてみていきます。特に道徳教育、人権教育の充実を図り、子どもたちの豊かな心を培っていきたいと考えています。

### ② 学習面について

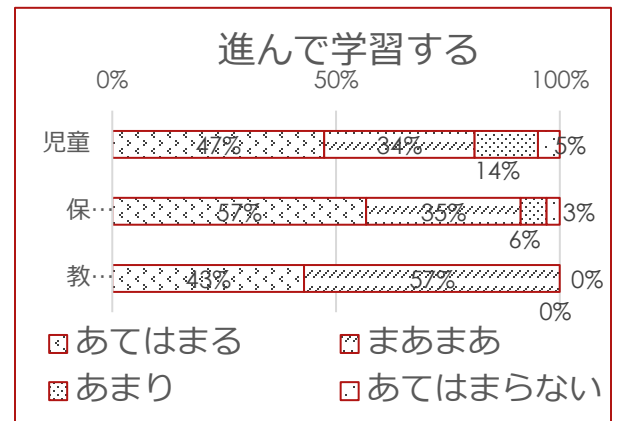
学習に81%の児童が意欲的に取り組んでいると答えています。しかし、「（あまり）意欲的でない」と答えた児童も19%（39名）おり、児童、保護者と、全体をとらえる教職員の評価にずれが生じています。今後も自信をもって意欲的に学習に向かう児童がさらに増えるよう、魅力的な授業づくりに取り組み、研修を通して指導力の向上に努めます。また、毎日の授業やチャレンジ学習などの取組を通して、基礎学力の向上に粘り強く取り組みます。



家庭学習については、「宿題など家でもきちんと勉強している。」という児童が94%、保護者は、85%となっています。教職員は、「家庭学習をきちんと行うよう指導している」で85%となっています。「家庭学習の手引き」を活用し、学年に応じて、宿題だけでなく自主的に学習する子をご家庭の協力をいただきながら、育てたいと考えています。

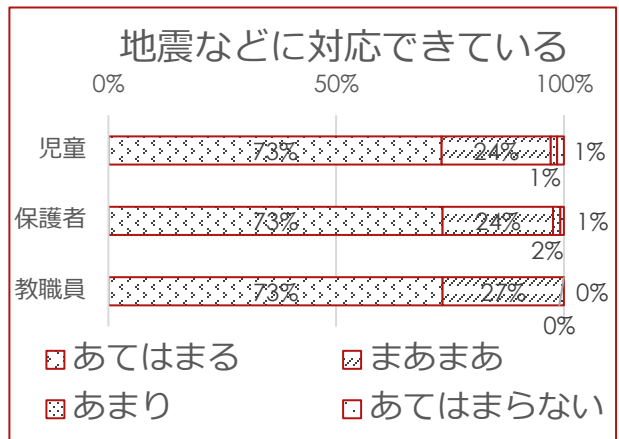


「進んで自分の考えを発表する」という質問については、81%の児童ができていると考えています。今年度、主体的・対話的で深い学びについて研究しています。授業の中で進んで意見を発表し合い考えを深め合う場面を意識的に取り入れてきました。今後も自分の内面を見つめ、自分の思いを言葉で発表できる子どもを育てていきます。自分の考えを発表することは、コミュニケーション能力の基礎となります。行事や授業を通してさまざまな課題に対処できる子どもを育成していきます。



### ③ 安全面について

風水害・大規模地震等への対応などの面では、昨年度に引き続き、保護者の皆様からは高い評価をいただいています。今年度も、地域の方々やPTA委員の協力の下、校外への2回の地震・津波避難訓練と、予告なしの地震避難訓練を実施しました。いざというときに率先避難者として、自分の命を守るための訓練を、今後も検討し、自助、共助の力を高めていく必要があると考えます。



### ④ その他

「ホームページや学級通信でクラスの様子がよくわかってありがたいです。毎日、楽しみにしています」という声がある一方、「『あいさつ運動やいじめ・体罰の防止』の評価は、親としては評価しづらい」というご意見をいただいています。その通りですね。ぜひ、子どもたちと話をする話題にしていいただければ、ありがたいと考えています。

これからも、子どもたちが通いたくなる、笑顔あふれる学校をめざしてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。なお、アンケート結果は、学校ホームページでも紹介しています。